

国指定 武蔵国分寺跡 史跡 附 東山道武蔵路跡

武蔵国分寺の規模と構造

僧寺の金堂を中心に東西2km、南北1.5kmに及ぶ範囲に、寺院に関連する集落が広がっており、その範囲が寺地として考えられています。

古代官道である東山道武蔵路を挟んで、東側に僧寺、西側に尼寺が配置され、国府から両寺へ通じる通路の分岐点には参道口(現府中市)があります。

僧寺は寺院地・伽藍地・中枢部の三重に、尼寺は伽藍地・中枢部の二重に区画されています。

武蔵国分寺を構成する主要伽藍

- 金堂 本尊を安置する建物
- 講堂 経典などの講義を行う建物
- 中門 中枢部区画の中軸線上に取付けられた門
- 鐘楼 時を告げる梵鐘を吊った建物
- 経蔵 経典などの書物を収蔵する建物
- 僧坊(尼寺) 僧(尼)が起居する建物
- 七重塔 「金光明最勝王経」を安置する建物
- 北方建物 僧寺伽藍中軸の北方、崖線上に建つ礎石建物



復元対象範囲はオレンジ色のマーカーで囲った「僧寺中枢地域」及び「七重塔」エリアです



- ### 凡例
- 史跡指定区域 (Red outline)
 - 市立歴史公園 (Brown outline)
 - 発掘調査範囲 (Blue outline)
 - 礎石建物跡・掘立柱建物跡 (Green)
 - 竪穴建物跡 (Orange circle)
 - 溝跡 (Blue line)
 - 堀跡 (Dark blue line)
 - 道路跡(推定) (Yellow line)
 - 区画溝跡(推定) (Brown line)
 - 国分寺崖線 (Green line)
 - 湧水源(埋没・枯渴含)・水系 (Blue line with dots)
 - 行政境界 (Grey line)

この地図は、武蔵国分寺跡および周辺遺跡の調査成果のうち古代以降の遺構を示したものです。

武蔵国分寺跡資料館
 (住所) 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
 (電話) 042-323-4103
 (FAX) 042-300-0091

発行：2024年2月

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)5都府市基交審第26号